

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2018年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	アクセスⅡ			科目コード	T1600B2			
配当期	前期・ <b>後期</b> ・通年	授業実施形態	<b>通常</b> ・集中			単位数	2単位			
担当教員名	武田 春美	履修グループ	2I(BI)			授業方法	演習			
実務経験の内容	資材メーカーのシステムエンジニアとして、5年間にわたり在庫管理システムの開発・運用業務や、ITコンサルタント企業で顧客の販売管理システムの開発・運用業務を6年間行った経験を生かし、アプリケーション開発に必要な環境構築方法、プログラム開発技法について実践的に授業展開を行う。									
学習一般目標	前期に引き続き、データベースソフトウェア Access の操作習得をめざす。 授業では、データベースの応用知識と、実用的なシステム構築についての理解の習得を目的とする。									
授業の概要および学習上の助言	毎回教科書に従い、データベースの作成を、説明を受けながら実習する。 次に、応用としてプリント課題を出題するので、教科書を参考にしながら、各自で課題を作成していく。 実習しながら、アクセスの操作と周辺知識を習得してほしい。									
教科書および参考書	教科書：よくわかる Microsoft Office Access2016 応用									
履修に必要な予備知識や技能	前期の学習内容 (Access2016 基礎の知識)									
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Access2016									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標								
	1.	データベースや Access の応用内容・知識を理解する。								
	1・4	Access のオブジェクトを作成・活用できる。								
	4	各オブジェクトを活用したりレーショナルデータベースを作成できる。								
	4	実習と課題作成に意欲をもって取り組みことができる。								
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合					80		20	100	
	学部 D P	1.知識・理解					20		20	40
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現					60			60
5.関心・意欲										
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験									
	クイズ小テスト									
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品	テキスト演習とプリント課題の提出。(毎回)								
	ポートフォリオ									
その他	授業への出席、取組みなどを含め総合的に判断する。									

## 授業明細表

回数/日付	学習内容	授業の 運営方法	学習課題 (予習・復習)
第1週 9/24	Access I の復習 前期の学習内容 (Access 基礎) の復習をします。	講義・実習	
第2週 10/1	テーブルの活用、リレーションシップと参照整合性 復習のテーブルの関連性が理解できる。	講義・実習	
第3週 10/8	選択クエリ、パラメータクエリ、クエリの活用 前期のクエリより応用的なクエリの作成が可能になる。	講義・実習	
第4週 10/15	アクションクエリの作成 レコードやテーブルを更新させるクエリが作成できる。	講義・実習	
第5週 10/29	フォームの活用 前期のフォームより応用的なフォームが作成できる。	講義・実習	
第6週 11/5	メイン・サブフォームの作成 2つのフォームを組み合わせたフォームの作成ができる。	講義・実習	
第7週 11/12	メイン・サブレポートの作成 2つのレポートを組み合わせたレポートの作成ができる。	講義・実習	
第8週 11/19	レポートの活用 前期のレポートより応用的なレポートが作成できる。	講義・実習	
第9週 11/26	便利な機能 データベース保守などに関する便利な機能が理解できる。	講義・実習	
第10週 12/3	総合演習① テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	講義・実習	
第11週 12/10	総合演習② テキスト内容を総復習して、理解を深めることができる。	講義・実習	
第12週 12/17	マクロ ① よく使う機能を、マクロとしてボタンなどに登録することができる。	講義・実習	
第13週 1/14	マクロ ② 画面遷移や入力処理など、いろいろな操作でマクロ化ができる。	講義・実習	
第14週 1/21	マクロ ③ 第11～13週目の復習をして、マクロの理解を深める。	講義・実習	